

令和4年産地域特産野菜生産状況調査結果

— 地域特産野菜の収穫量は令和2年産に比べ6%減少 —

【調査結果の概要】

1 地域特産野菜計

作付面積は1万1,700haで、令和2年産に比べ600ha（5%）減少した。

収穫量は22万3,700tで、令和2年産に比べ1万3,600t（6%）減少した。

出荷量は20万6,400tで、令和2年産に比べ1万1,900t（5%）減少した。

2 葉茎菜類

作付面積は7,260haで、令和2年産に比べ300ha（4%）減少した。

収穫量は12万5,400tで、令和2年産に比べ9,000t（7%）減少した。

出荷量は11万2,600tで、令和2年産に比べ7,900t（7%）減少した。

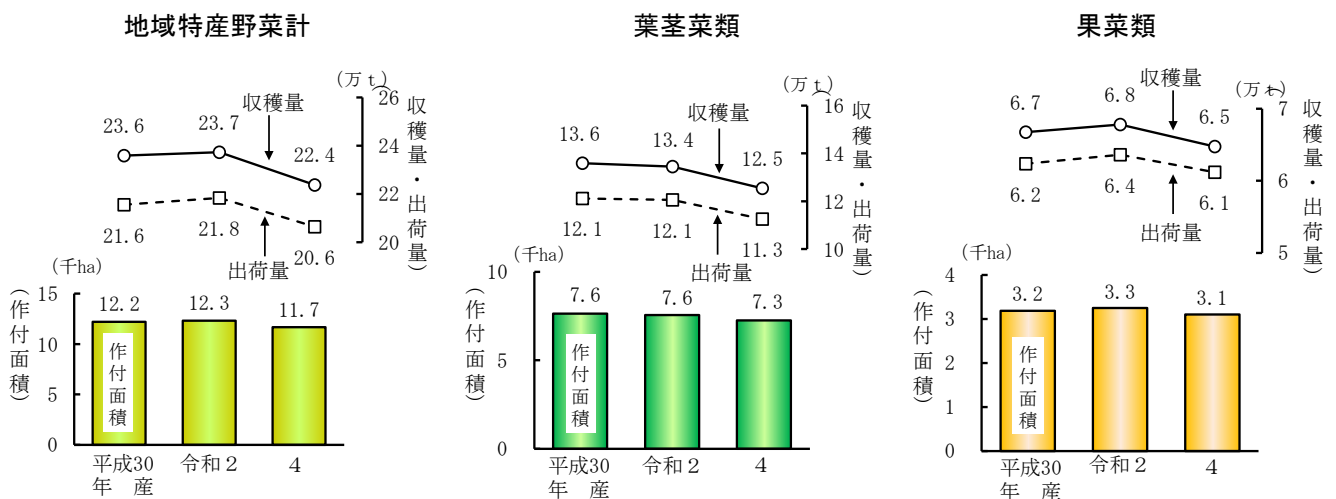
3 果菜類

作付面積は3,100haで、令和2年産に比べ150ha（5%）減少した。

収穫量は6万4,700tで、令和2年産に比べ3,100t（5%）減少した。

出荷量は6万1,200tで、令和2年産に比べ2,400t（4%）減少した。

図 地域特産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量（全国）の推移



○ 地域特産野菜とは、各都道府県において生産される多様な野菜であり、本調査においては、収穫量がおおむね200t以上の野菜を対象とした。